

令和5年度

事業計画及び
収支予算書

一般財団法人 静岡市動物園協会

一般財団法人静岡市動物園協会
令和5年度 事業計画
(令和5年4月1日～6年3月31日)

I. 運営方針

静岡市動物園協会は、定款第3条で「非営利の一般財団法人として、静岡市及び関係諸団体との協働及び連携により動物園事業の発展振興を図り、併せて動物の愛護思想の普及により地域社会の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養すること」を目的としており、これに基づき動物園に係る、1.教育普及・イベントの推進（公益事業）、2.園内管理業務（受託事業）、3.物品・飲食物の販売（収益事業）を行っています。

本協会は、公益法人制度改革により、平成23年度に財団法人から一般財団法人（移行法人）に移行し、そのために策定した公益目的支出計画が平成30年度に完了したことから、令和元年度に正式な一般財団法人として認可されました。なお、一般財団法人への移行後も静岡市からは「市としての公益性がある」と認定されています。

市の外郭団体として、市が求める役割（パートナー）を果たし、健全で安定的な経営基盤を確立するために策定した新たな経営計画（令和5～8年度）に基づき、毎年度の事業評価を実施することで目標達成に向けて取り組んでいきます。

本年度の事業計画については、コロナ禍が完全には未収束の状況下、また昨年9月の台風15号の土砂災害による施設の休止など、依然として経営を取り巻く環境が厳しい中、1.定款を踏まえた効果的な公益事業の推進、2.受託事業の的確な実施と利用者満足度の向上、3.収益事業の収益増に取り組むとともに、各事業の経費削減の徹底など、協会に求められる役割を確実に果たし、経営状況のより一層の改善を図ります。

II. 協会の組織

協会は、法令や定款に基づき、議決・監督、執行、監査の3つの機関から構成されており、その組織及び主な役割は次のとおり。

機関名	組織名	主な役割
議決・監督機関	評議員会	評議員・理事・監事の選任及び解任、決算の承認、定款の変更
執行機関	理事会	業務執行の決定、理事の職務執行の監督、理事長の選定及び解職、事業計画・予算の承認
	理事長	協会の代表、業務の執行
	事務局	事務の処理
監査機関	監事	理事の職務執行の監査、事業報告等の監査

III. 事業計画

1. 公益事業<実施事業等会計ほか>

動物園やボランティア団体（日本平動物園ガイドボランティア等）と協働、連携し、動物園事業の発展振興、動物の愛護思想の普及を図るため、次の各種事業を実施する。

(1) 教育普及事業

子どもへの教育だけでなく、生涯教育の観点から、大人にも動物愛護の精神を育むとともに、命の大切さを学ぶ情操教育、自然を守る環境教育を実施する。

① めざせ！動物園博士

動物への理解促進イベントとして、クイズ形式による入門コース及び専門コースを実施するとともに、日本平動物園学会を開催し、動物へのより一層の理解促進を図る。

区 分	内 容	実施予定	令和4年度実績
入門コース	初心者を対象とした入門コースで、園内を周回するクイズラリー形式で実施。参加者の動物への理解を深める。	2回	1回 参加 16名
専門コース (4コース)	入門コース修了者を対象に、より専門的な知識を身に付けるため4種類の専門コースを実施。4コース修了者を動物園博士として認定。	各1回 (計4回)	計4回 参加 延14名 博士認定 1名
日本平動物園学会	動物園博士認定者を対象に、専門講座等を開催し、将来のガイドボランティア育成を図る。	2回	1回

② 動物園親子教室

幼児（年中・年長）と保護者を対象に、動物クイズや工作を実施し、幼児期における動物を通じた情操教育を推進する。

区分	時期	テーマの動物（予定）	実施予定	令和4年度実績
第1回	4, 5月	レッサーパンダ	1班（偶数月） 12組 24名 2班（奇数月） 12組 24名 各6回	1班（偶数月） 10組 21名 2班（奇数月） 10組 20名 各6回
2	6, 7月	ゾウ		
3	8, 9月	ペンギン		
4	10, 11月	トラ、ライオン		
5	12, 1月	ホッキョクグマ		
6	2, 3月	マレーバク、サイ		

③ ツアーガイド

学校団体等からの申込みに対し、ガイドボランティアが、動物の解説をしながら園内を回り、動物園について学び、理解を深めてもらう。

コース名	内 容	実施予定	令和4年度実績
わくわくコース (小学生対象)	動物園や動物について学ぶ。	1グループ(10名以内)にガイド1名	(休止)
ドキドキコース (中学生対象)	動物園や動物について、少し掘り下げて学ぶ。		(休止)

フリーコース (一般対象)	動物園や動物について、いろいろな角度から観る。	※最大 10 グループ 100 名程度まで	参加 36 団体 1, 319 名
------------------	-------------------------	--------------------------	----------------------

④ ふれあい動物園 (動物園事業の支援)

園飼育スタッフやガイドボランティアと共に、ふれあい館でウサギ・モルモットの小動物とのふれあいなどを実施し、それらを通じて命の大切さを学ぶ情操教育の推進に資する。

⑤ 学びプロジェクト (地域の教育機関との連携)

地域の教育機関に、動物に関する知識や教材、体験の機会を広く提供することで、命のつながり、人と自然とのつながりなどを実感し、学びを広め深めてもらう。

具体的には、市立こども園へ出張講話、ゾウのフンによる紙づくり、ミニツアーガイド等を実施する。

(2) イベント推進事業

動物園に求められる役割の一つとしてレクリエーション機能があり、協会では、来園者に園内で楽しく過ごしていただくため、動物園との協働により、年間を通して様々なイベントを実施する。

① 年間を通じたイベント

時 期	園主催事業	協会関連事業
7月初旬	七夕イベント	七夕笹飾り
7月～8月	夏の動物園まつり	8/1 開園記念日、動物クラフト
9月、10月	夜の動物園	土曜日の夜間開園 (17:30～21:00)
10月～11月	秋の動物園まつり	動物クラフト等
12月	クリスマスフェス	クリスマスリース作り
1月	お正月イベント	動物園カレンダーの配布プレゼント
3月	春の動物園まつり	動物クラフト

② 展示動物を題材にした協会独自の来園者対象のお楽しみイベント

動物の隠れた秘密や魅力をクイズラリーをとおして楽しみながら学ぶ。年6回実施。参加アイテムをカプセルトイ機で購入 (300円/回) して参加。

(令和4年度実施例)

- ・「キミも飼育員」 日本平動物園クイズラリー 「飼育の日」前後に実施
- ・「ツキとセレン (ハイエナ) の骨さがし」 ワードラリー
- ・「小熊猫王 (れっさーぱんだおう)」 クイズラリー
- ・「タマリンをさがせ」 クイズラリー
- ・「すみません、『青木さん』は、どこにいますか? (フンボルトペンギン)」 クイズラリー
- ・「オオアクリイ・アントハンター」 ウォークラリー

③ その他のイベント

公益事業に資するとともに、動物園及び協会が進める集客力の向上を図るため、前述のイベント以外にも、協会業務に関連したイベントや企画等の実施に向けた取り組みを行う。

<入園者増対策イベント・企画>

イベント・企画名	内 容	令和4年度見込
雨の日・平日来園者プレゼント	雨の日や平日の来園者に、取得ポイントに応じオリジナルグッズをプレゼント	54 件
年間パスポート購入者プレゼント	年間パスポート購入者に、パスケースとストラップ等をプレゼント	1,871 名
子育て応援イベント	来園した親子（未就学児）に、オリジナル缶バッチ等をプレゼント、再来園時も特典あり	1,159 名
入学おめでとうキャンペーン	小学校から大学までの新規入学者に、オリジナルグッズをプレゼント	108 名

(3) 市民団体等の育成及び協働事業

動物園における愛護教育・環境教育の充実を図るうえで、ボランティア等の市民団体の役割は大きく、その窓口を担っている協会では、ボランティアの確保・育成と市民団体との協働事業の実施を推進していく。

① 日本平動物園ガイドボランティア

約 100 名が登録し、5 つの班と事務局で構成され、協会とともに、園内ガイド、ふれあい事業、親子教室、ツアーガイド、動物園博士などの活動を行っている。

ボランティアの確保・育成のため、新人研修（年 1 回）や養成講座を実施するとともに、運営に係る総会（年 1 回）や企画等に係る全体会議（毎月）を開催する。

② 花のボランティア活動

レストハウス、エントランス、山頂の花壇の手入れ、苗植え等（毎月第 1・3 火曜日）

③ 一般社団法人静岡市造園緑化協会との協働事業

季節の花々の植栽等（年 3 回）

(4) シティプロモーション事業（広報・宣伝事業）

静岡市では、市内外に向けて、国内で唯一、日本全国のレッサーパンダの血統管理を行っている当園を、「レッサーパンダの聖地」として、その取り組みを積極的に PR し、市の魅力を発信している。

また、動物園では、公式キャラクター「レッパーくん」をイベント等での PR や啓発に活用しており、毎月第 3 土曜日には着ぐるみが来園者をお迎えし、写真撮影やノベルティの配布を行っているほか、協会においても、「レッパーくん」のぬいぐるみやキーホルダー、文房具等の関連グッズを販売しその普及に努めている。

シティプロモーション事業は、動物園の安定した集客力を確保し、動物園事業の持続的な発展を図っていく上で重要であることから、協会では、今後も動物園と連携して、ホームページや SNS 等を活用し、動物や動物園の魅力を伝える動画配信や各種イベント、オリジナルグッズを紹介するほか、園内の動物カレンダーを作成・配布するなど、積極的な情報発信に努めていく。

2. 受託事業<その他会計1>

静岡市から、「静岡市立日本平動物園園内管理業務」「静岡市立日本平動物園入園料等徴収事務及び寄付金等収納事務」を受託し、仕様書に基づき受託事業として下表のとおり実施する。

この事業では、動物園内各施設を適切に管理するとともに、来園者の安全確保に努め、常に接客サービスの向上を図るなど、お客様が快適に楽しむことのできる環境の整備に取り組む。

項目 (場所)	内 容	令和5年度重点取組	
園 内 管 理 業 務	(1) 売改札及び案内業務 ・ 正門 ・ 東門 ・ 情報コーナー	①入園券の交付 ②入園券の改札 ③条例に基づく入園の拒否及び退園命令に関すること ④入園等の案内 (園内放送及び遺失物等を含む)	令和6年2月から導入される予定のキャッシュレス化への対応
	(2) 駐車場の運営 ・ エントランス ・ 第1～4駐車場 ・ 臨時駐車場	①駐車場施設の保全・管理 ②条例に基づく駐車拒否に関すること ③駐車場への誘導・整理 ④駐車票の交付 ⑤駐車中の車両の監視 ⑥駐車場の車両の損害保険	
	(3) 遊戯施設の運営 ・ オートチェアー ・ ローラースライダー ・ 遊園地 (大型遊具、自動遊具)	①遊戯施設の運転 ②遊戯施設の維持・保全 ③使用券の交付 ④使用券の改札 ⑤遊戯施設利用の指導・監督に関すること ⑥人身事故の損害保険に関すること	オートチェアー、ローラースライダーの11月からの復旧再開への対応
	(4) 動物園内の清掃業務 (動物収容施設を除く)	①日常的な清掃 (園路、広場、各施設、休憩所、園内道路、駐車場、遊園地、トイレ) ②定期的な清掃 (ワックスがけ)	
	(5) 入園者誘致にかかる各種事業の実施	①各種イベント・来園者サービス ②団体客受入 (予約確認) ③渋滞緩和対策 ④ゴミの分別・禁煙の啓発など	公益事業及び収益事業との連携
徴 収 事 務	入園料等徴収事務、寄付金等収納事務	①入園等の確認 (入園券、入園料等減額・免除申請書、遊具券、駐車票、寄付金等) ②入園料等の徴収及び寄付金の市への収納	令和6年2月から導入される予定のキャッシュレス化への対応

3. 収益事業<その他会計2>

動物園のレクリエーション機能の充実を図るため、園内における物販及び飲食等のサービス事業を実施する。事業運営によって得られた収益については、公益事業として実施している教育普及事業等の財源とすることで、広く市民及び利用者への還元を図る。

また、経営計画（令和5～8年度）の初年度として、経営面における目標である売上増及び正味財産の黒字化を確実に実現するため、収益事業の改善に取り組む。

具体的には、園との協働による団体客等の誘客促進や来園者増に向けた各種イベントの開催（クイズラリー、ノベルティ配布等）、売店グッズ・食堂メニューのリサーチや見直し、経費削減の徹底、通信販売やその他収入の充実、SNS等を活用した効果的な情報発信などを積極的に推し進めていく。

なお、10月から導入されるインボイス制度へも的確に対応していく。

区 分	名 称	内 容	場 所
売店事業収入	第1売店「動物たちの森1」 第2売店「動物たちの森2」 第3売店「バード・ソング」 第4売店「ふれあい動物園前」 第8売店「展望360」 園外及び通信販売	グッズ、軽食 グッズ 軽食 グッズ 軽食 グッズ	エントランス内 〃 外 レストハウス前 〃 併設 山頂広場 園外2カ所
食堂事業収入	レストハウス	食事	ふれあい動物園前
移動販売車等 販売手数料	移動販売車（5台）	軽食	エントランス内、 遊園地前
その他の収入	自動遊具（硬貨式、14台） カプセルトイ販売機（動物グッズ等） ベビーカー貸出 ブリクラ機 ガイドマシン（動物説明機） 望遠鏡 コインロッカー 双眼鏡貸出 菓子自販機		遊園地内 第1、2売店、遊園地 正面、東門入口 エントランス 園内 山頂 エントランス 情報コーナー エントランス

収支予算書内訳表

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (公益事業)	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	0	13,000	15,000	0	0	28,000	28,000
特定資産受取利息	0	13,000	15,000	0	0	28,000	28,000
事業収益	1,000,000	176,440,000	167,776,000	0	0	344,216,000	345,216,000
教育普及事業収益	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
静岡市からの受託料収益	0	176,440,000	0	0	0	176,440,000	176,440,000
販売事業収益	0	0	160,394,000	0	0	160,394,000	160,394,000
売店事業収益	0	0	123,234,000	0	0	123,234,000	123,234,000
食堂事業収益	0	0	31,092,000	0	0	31,092,000	31,092,000
移動販売車収益	0	0	6,068,000	0	0	6,068,000	6,068,000
その他の事業収益	0	0	7,382,000	0	0	7,382,000	7,382,000
その他の収益	0	0	7,382,000	0	0	7,382,000	7,382,000
雑収益	233,000	11,000	521,000	0	371,000	532,000	1,136,000
受取利息	0	1,000	1,000	0	1,000	2,000	3,000
雑収益	233,000	10,000	520,000	0	370,000	530,000	1,133,000
経常収益計	1,233,000	176,464,000	168,312,000	0	371,000	344,776,000	346,380,000
(2) 経常費用							
事業費	6,045,000	0	0	0	0	6,045,000	6,045,000
役員報酬	532,000	0	0	0	0	532,000	532,000
職員給料	1,351,000	0	0	0	0	1,351,000	1,351,000
諸手当	827,000	0	0	0	0	827,000	827,000
臨時雇賃金	769,000	0	0	0	0	769,000	769,000
退職給付費用	508,000	0	0	0	0	508,000	508,000
福利厚生費	451,000	0	0	0	0	451,000	451,000
旅費研修費	6,000	0	0	0	0	6,000	6,000
通信運搬費	30,000	0	0	0	0	30,000	30,000
広報宣伝費	367,000	0	0	0	0	367,000	367,000
会議費	2,000	0	0	0	0	2,000	2,000
消耗什器備品費	49,000	0	0	0	0	49,000	49,000
消耗品費	255,000	0	0	0	0	255,000	255,000
被服費	22,000	0	0	0	0	22,000	22,000
光熱水費	42,000	0	0	0	0	42,000	42,000
印刷製本費	53,000	0	0	0	0	53,000	53,000
賃借料	105,000	0	0	0	0	105,000	105,000

収支予算書内訳表

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計 (公益事業)	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)				
			共通	小 計			
保険料	192,000	0	0	0	0	192,000	
諸謝金	78,000	0	0	0	0	78,000	
租税公課	4,000	0	0	0	0	4,000	
支払負担金	262,000	0	0	0	0	262,000	
支払手数料	30,000	0	0	0	0	30,000	
委託費	103,000	0	0	0	0	103,000	
雑費	7,000	0	0	0	0	7,000	
受託事業費	0	169,163,000	0	0	0	169,163,000	
役員報酬	0	3,460,000	0	0	0	3,460,000	
職員給料	0	68,457,000	0	0	0	68,457,000	
諸手当	0	40,446,000	0	0	0	40,446,000	
臨時雇賃金	0	6,586,000	0	0	0	6,586,000	
退職給付費用	0	5,458,000	0	0	0	5,458,000	
福利厚生費	0	18,823,000	0	0	0	18,823,000	
諸謝金	0	503,000	0	0	0	503,000	
旅費	0	42,000	0	0	0	42,000	
研修費	0	117,000	0	0	0	117,000	
減価償却費	0	350,000	0	0	0	350,000	
消耗什器備品費	0	2,264,000	0	0	0	2,264,000	
消耗品費	0	199,000	0	0	0	199,000	
通信運搬費	0	272,000	0	0	0	272,000	
被服費	0	1,588,000	0	0	0	1,588,000	
広報宣伝費	0	350,000	0	0	0	350,000	
燃料費	0	10,000	0	0	0	10,000	
消耗工具費	0	575,000	0	0	0	575,000	
修繕費	0	246,000	0	0	0	246,000	
印刷製本費	0	846,000	0	0	0	846,000	
保険料	0	853,000	0	0	0	853,000	
支払手数料	0	30,000	0	0	0	30,000	
支払負担金	0	680,000	0	0	0	680,000	
貸借料	0	877,000	0	0	0	877,000	
委託費	0	12,000	0	0	0	12,000	
会議費	0	15,771,000	0	0	0	15,771,000	
租税公課	0	273,000	0	0	0	273,000	
光熱水費	0	75,000	0	0	0	75,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	

(単位:円)

収支予算書内訳表

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計 (公益事業)	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
営業費	0	0	97,736,000	0	0	97,736,000	
売店費	0	0	76,244,000	0	0	76,244,000	
売店商品費	0	0	73,187,000	0	0	73,187,000	
売店光熱水費	0	0	1,504,000	0	0	1,504,000	
売店賃借料	0	0	553,000	0	0	553,000	
売店雑費	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	
食堂費	0	0	21,492,000	0	0	21,492,000	
食堂材料費	0	0	12,748,000	0	0	12,748,000	
食堂光熱水費	0	0	5,744,000	0	0	5,744,000	
食堂賃借料	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000	
食堂雑費	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	
営業管理費	0	0	66,917,000	0	0	66,917,000	
役員報酬	0	0	1,065,000	0	0	1,065,000	
職員給料	0	0	21,426,000	0	0	21,426,000	
諸手当	0	0	12,860,000	0	0	12,860,000	
臨時雇賃金	0	0	11,001,000	0	0	11,001,000	
退職給付費用	0	0	869,000	0	0	869,000	
福利厚生費	0	0	5,932,000	0	0	5,932,000	
旅費研修費	0	0	113,000	0	0	113,000	
通信運搬費	0	0	159,000	0	0	159,000	
広報宣伝費	0	0	489,000	0	0	489,000	
減価償却費	0	0	1,036,000	0	0	1,036,000	
消耗什器備品費	0	0	105,000	0	0	105,000	
消耗品費	0	0	502,000	0	0	502,000	
修繕費	0	0	100,000	0	0	100,000	
印刷製本費	0	0	75,000	0	0	75,000	
被服費	0	0	152,000	0	0	152,000	
賃借料	0	0	1,009,000	0	0	1,009,000	
保険料	0	0	88,000	0	0	88,000	
光熱水費	0	0	84,000	0	0	84,000	
委託費	0	0	2,678,000	0	0	2,678,000	
会議費	0	0	3,000	0	0	3,000	
支払手数料	0	0	860,000	0	0	860,000	
支払負担金	0	0	44,000	0	0	44,000	
諸謝金	0	0	155,000	0	0	155,000	
租税公課	0	0	6,004,000	0	0	6,004,000	
雑費	0	0	108,000	0	0	108,000	

(単位:円)

収支予算書内訳表

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (公益事業)	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
管理費	0	0	0	0	1,020,000	0	1,020,000
役員報酬	0	0	0	0	267,000	0	267,000
職員給料	0	0	0	0	245,000	0	245,000
諸手当	0	0	0	0	155,000	0	155,000
福利厚生費	0	0	0	0	110,000	0	110,000
旅費研修費	0	0	0	0	3,000	0	3,000
通信運搬費	0	0	0	0	15,000	0	15,000
会議費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
減価償却費	0	0	0	0	25,000	0	25,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
消耗品費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
被服費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
印刷製本費	0	0	0	0	4,000	0	4,000
光熱水費	0	0	0	0	21,000	0	21,000
賃借料	0	0	0	0	52,000	0	52,000
保険料	0	0	0	0	10,000	0	10,000
諸謝金	0	0	0	0	39,000	0	39,000
租税公課	0	0	0	0	2,000	0	2,000
支払負担金	0	0	0	0	2,000	0	2,000
支払手数料	0	0	0	0	15,000	0	15,000
委託費	0	0	0	0	30,000	0	30,000
雑費	0	0	0	0	2,000	0	2,000
経常費用計	6,045,000	169,163,000	164,653,000	0	333,816,000	0	340,881,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,812,000	7,301,000	3,659,000	0	10,960,000	0	5,499,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-4,812,000	7,301,000	3,659,000	0	10,960,000	0	5,499,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計							
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計							
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0

収支予算書内訳表

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (公益事業)	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
他会計振替額	4,812,000	-3,678,000	-1,783,000	0	649,000	0	0
その他会計他1振替額	3,029,000	0	0	0	649,000	0	3,678,000
その他会計他2振替額	1,783,000	0	0	0	0	0	1,783,000
実施事業等会計振替額	0	-3,029,000	-1,783,000	0	0	0	-4,812,000
法人会計振替額	0	-649,000	0	0	0	0	-649,000
法人税等	0	3,623,000	1,287,000	0	0	0	4,910,000
その他会計他1法人税	0	3,623,000	0	0	0	0	3,623,000
その他会計他2法人税	0	0	1,287,000	0	0	0	1,287,000
当期一般正味財産増減額	0	0	589,000	0	0	0	589,000
一般正味財産期首残高	5,049,588	41,629,025	70,899,792	0	20,024,595	-8,603,000	129,000,000
一般正味財産期末残高	5,049,588	41,629,025	71,488,792	0	20,024,595	-8,603,000	129,589,000
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部							
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	5,049,588	41,629,025	71,488,792	0	20,024,595	-8,603,000	129,589,000